

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2002-535398(P2002-535398A)

【公表日】平成14年10月22日(2002.10.22)

【出願番号】特願2000-595995(P2000-595995)

【国際特許分類】

C 07 D 207/14	(2006.01)
A 61 K 31/341	(2006.01)
A 61 K 31/357	(2006.01)
A 61 K 31/40	(2006.01)
A 61 K 31/421	(2006.01)
A 61 P 1/02	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 17/02	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 19/10	(2006.01)
A 61 P 27/02	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
C 07 D 263/04	(2006.01)
C 07 D 307/14	(2006.01)
C 07 D 317/28	(2006.01)

【F I】

C 07 D 207/14	
A 61 K 31/341	
A 61 K 31/357	
A 61 K 31/40	
A 61 K 31/421	
A 61 P 1/02	
A 61 P 1/04	
A 61 P 17/02	
A 61 P 19/02	
A 61 P 19/10	
A 61 P 27/02	
A 61 P 29/00	1 0 1
A 61 P 35/00	
A 61 P 43/00	1 1 1
C 07 D 263/04	
C 07 D 307/14	
C 07 D 317/28	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年8月3日(2010.8.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

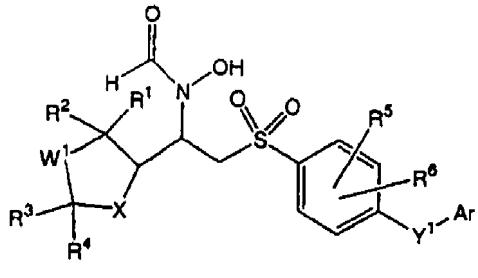
【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

【0 0 0 7】

【化3】



式中、

W&lt;sup&gt;1&lt;/sup&gt; は

- (1) - O - 、
- (2) - CH<sub>2</sub>O - および
- (3) - CH<sub>2</sub> -

からなる群から選択され；各基は左端が R<sup>1</sup> および R<sup>2</sup> を有する炭素に結合した末端であり、右端が R<sup>3</sup> および R<sup>4</sup> を有する炭素に結合した末端となるように描かれており；

X は

- (1) - O - および
- (2) - N (R<sup>7</sup>) -

からなる群から選択され；

R&lt;sup&gt;7&lt;/sup&gt; は

- (a) 水素、
- (b) アルキル、
- (c) - SO<sub>2</sub> - アルキルおよび
- (d) アルカノイル

からなる群から選択され；

R&lt;sup&gt;1&lt;/sup&gt; および R&lt;sup&gt;2&lt;/sup&gt; は独立に、

- (1) 水素、
- (2) アルキルおよび
- (3) ヒドロキシアルキル

からなる群から選択され；

R&lt;sup&gt;3&lt;/sup&gt; および R&lt;sup&gt;4&lt;/sup&gt; は独立に、

- (1) 水素および
- (2) アルキル

からなる群から選択されるか；あるいは

R&lt;sup&gt;3&lt;/sup&gt; および R&lt;sup&gt;4&lt;/sup&gt; が一体となってオキソであるか；あるいは

R<sup>3</sup> および R<sup>4</sup> がそれらが結合している炭素原子とともにシクロアルキル環を形成しており；

R&lt;sup&gt;5&lt;/sup&gt; および R&lt;sup&gt;6&lt;/sup&gt; は独立に、

- (1) 水素、
- (2) アルキル、
- (3) パーフルオロアルキル、
- (4) ハロゲン、
- (5) ハロアルキル、
- (6) アルコキシ、
- (7) 水酸基、
- (8) ヒドロキシアルキル、

( 9 ) アルコキシアルキルおよび

( 10 ) ニトロ

からなる群から選択され；

Y<sup>1</sup> は

( 1 ) 共有結合、

( 2 ) - O - 、

( 3 ) 炭素原子数 2 ~ 4 のアルキレン、

( 4 ) ピペリジンエニル、

( 5 ) 炭素原子数 2 のアルケニレン、

( 6 ) 炭素原子数 2 のアルキニレン、

( 7 ) - SO<sub>2</sub> - および

( 8 ) - C ( O ) -

からなる群から選択され；

A<sub>r</sub> は、

( 1 ) フェニル、

( 2 ) ピリジル、

( 3 ) ピラジニル、

( 4 ) ピリダジニル、

( 5 ) フリル、

( 6 ) チエニル、

( 7 ) イソオキサゾリル、

( 8 ) オキサゾリル、

( 9 ) チアゾリルおよび

( 10 ) イソチアゾリル

からなる群から選択され；

上記の ( 1 ) ~ ( 10 ) は

( a ) アルキル、

( b ) アルコキシで置換されていても良いアルコキシ、

( c ) - ( アルキレン ) - CO<sub>2</sub>R<sup>8</sup> であって、R<sup>8</sup> が水素またはアルキルであるもの

、( d ) - ( アルキレン ) - NR<sup>9</sup>R<sup>10</sup> であって、R<sup>9</sup> および R<sup>10</sup> が独立に、

( i ) アルキル、

( ii ) フェニルおよび

( iii ) フェニルアルキル

から選択されるもの ( ( ii ) および ( iii ) ) に関して、フェニルおよびフェニルアルキルのフェニル部分は、ハロゲンおよびアルコキシからなる群から独立に選択される 1 個もしくは 2 個の置換基で置換されていても良い) 、

( e ) アルコキシアルキル、

( f ) シアノ、

( g ) シアノアルキル、

( h ) ハロゲン、

( i ) ハロアルキル、

( j ) 水酸基、

( k ) ヒドロキシアルキル、

( l ) チオアルコキシ、

( m ) チオアルコキシアルキル、

( n ) フェニルアルコキシ、

( o ) フェノキシ、

( p ) フェノキシアルキル、

( q ) ( 複素環 ) オキシ、

( r ) ( 複素環 ) オキシアルキル、  
( s ) パーフルオロアルキル、  
( t ) パーフルオロアルコキシ、  
( u ) スルフィニルアルキル、  
( v ) スルホニルアルキル、  
( w )